

至仏山山スキー 報告

【山城】至仏山

【日程】2018年4月21日

【メンバー】CL 菊池・SL 石橋・加藤・井上(里)記・会員外一名

【行程と天気】晴れ

千葉―戸倉駐車場―バス―鳩待峠 8:30―小至仏山直下―11:38 至仏山山頂 12:12―大斜面―悪沢―13:23 渡渉―鳩待峠まで登り―14:00 鳩待峠―バス―戸倉駐車場―帰葉



鳩待峠までのバス開通を待って至仏山山スキーに行って来ました。二年前に来たときは雪がとっても少ない年で歩き始めはスキーを担ぎ、どうにか繋がっているところを探しながらでしたが、今年は峠に雪が高く積もっておりこの違いに私は感激し、快晴の今日の滑りに期待しました。開通を待っていた山スキー、ボード、スノーシューの人達でいっぱい皆も嬉しそう。



リーダーを先頭に他のパーティーを抜いたり抜かれたりしながら順調にのぼります。今回はリーダーのお知り合いの70代半ばのベテラン男性も同行しましたが足取り軽く驚きました。途中で下りのルートの確認などの説明をリーダーから聞きながら前回のいやらしい



トラバースも積雪が多いため難なく通過でき至仏山山頂手前の滑降地点で休憩。シールを外しほかのメンバーは直ぐ前の山頂をピストンしますが、私一人これから滑る大斜面をドキドキしながら「転びませんように」と願いながら観察。

さあ、滑ります。私はいつも滑り出し直ぐに転ぶことが多くすごく緊張しますが滑りやすく気持ちよくて今回は転びません。前回と違い斜面どこでも滑れそうで、下手な私がルートから多少ずれても先頭のメンバーの所には行かれそうです。最高の雪質、斜面、年によってこんなにも違うのかと驚きます。



皆、気持ち良さそうにシュプールを描き滑ります。雪はたっぷりあるので真っ直ぐ悪沢沿いに下るルートに決定。

そこは私が想像していたものとは違い穴の開いた沢に緊張感いっぱいハラハラドキドキの連続でしたが、他のメンバーにはなんの問題もなさそうです。

二回沢を渡りましたが鳩待峠直下では板を背負い結構の流れの中滑らないよう緊張しました。





そのまま板を背負い目の前の尾根を半袖になってしばらく登るとポコッと出発地点の峠に到着。私には初めて転ぶことのなかった山スキーで少し自信ができました。

無事に帰って来れたことに感謝。

リーダー、メンバーありがとうございました。

